２０２３年３月現在

お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）取組状況について
～アクションプラン編～

１．お客さまの最善の利益を追求することを最優先に、お客さま本位の業務運営を徹底してまいります。

○お客さまとコミュニケーションを重ねることで、お客さまが真に求めていることや抱えている課題にともに向き合い、お客さまにとって最適な商品・サービスを提供してまいります。

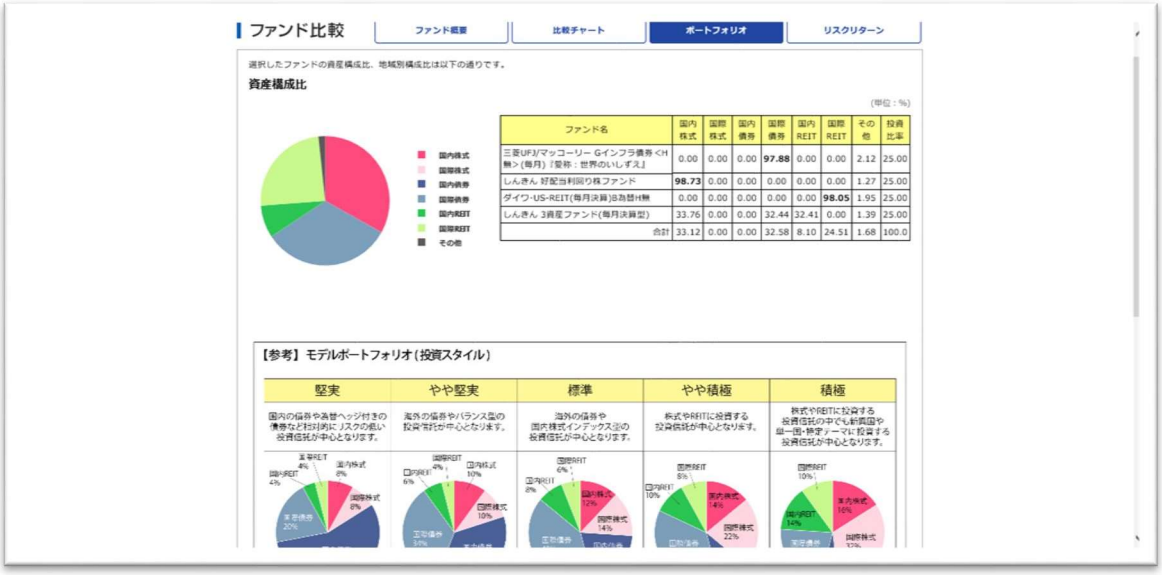
２．お客さまが真に求める最適な商品・サービスを提供してまいります。

○私たちは、お客さまの金融知識、取引経験、資産状況、取引目的等を十分に把握した上で、時間をかけてお客さまと向き合い、取引履歴等を活用しながら、ニーズや課題をタイムリーに捉えてまいります。

（１）「Wealth Advisor」を投信提案で活用

投資信託のご提案に際して、さまざまな情報をご提供させていただくツールとして、モーニングスター社製「Wealth Advisor」を導入し、タブレットへ展開しております。

同ツールを活用することで、マーケット状況や他行で取り扱っている同種のファンド情報、手数料を加味した保有期間シミュレーション等さまざまな情報をタイムリーにご提供することができます。



ファンド名	国内株式	国際株式	国内債券	国際債券	国内REIT	国際REIT	その他	投資比率
三菱UFJ/マッコーリー Gインフラ債券＜H無＞(毎月)『愛称：世界のいしずえ』	0.00	0.00	0.00	**97.88**	0.00	0.00	2.12	25.00
しんきん 好配当利回り株ファンド	**98.73**	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.27	25.00
ダイワ・US-REIT(毎月決算)B為替H無	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	**98.05**	1.95	25.00
しんきん 3資産ファンド(毎月決算型)	33.76	0.00	0.00	32.44	32.41	0.00	1.39	25.00
合計	33.12	0.00	0.00	32.58	8.10	24.51	1.68	100.0

（2）ロボアドの導入

«さいしん»のホームページ内投資信託画面に大和アセットマネジメント株式会社のロボアド「i ツール」バナーを掲載し、お客さまにあったポートフォリオ診断をできるようにしております。

（3）「フィデューシャリー・デューティーロープレ」の実施

2022 年 10 月より 3 ヶ月間で、「マネーアドバイザー」（137 名）に対し、投資信託の提案過程を１０段階に分け、メリットだけではなく、デメリットまでいかにわかりやすく説明できるかを評価する、店内ロールプレイングを実施しました。

＜投信の提案過程＞

ステージ１　お客さまの運用に対するお考えをヒアリング
（お客さまカードの内容に関する確認方法）

ステージ２　リスクとリターンの説明

ステージ３　お客さまの金融資産を 3 つに色分け
（生活資金、目的資金、運用可能な資金）

ステージ４　投資信託とはどのような投資性商品であるかについて

ステージ５　マーケット環境の説明

ステージ６　コア・サテライト分散投資の説明

ステージ７　お客さまの意向にあった複数ファンドの説明

ステージ８　投資信託の手数料・重要事項の説明

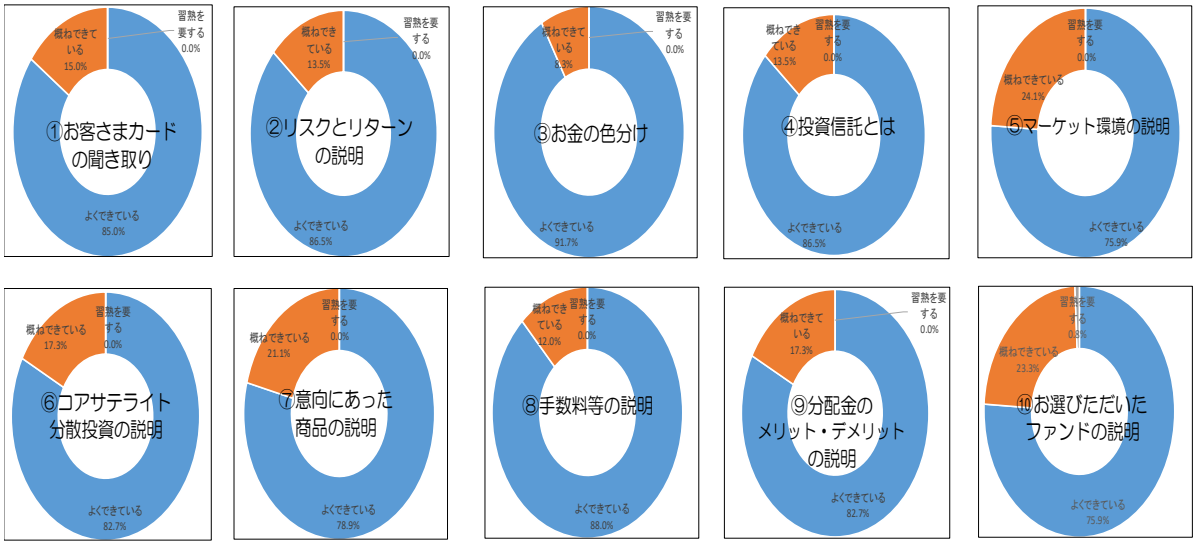
ステージ９　分配金のメリット・デメリットの説明

ステージ１０　お客さまにお選びいただいたファンドの運用シミュレーション他詳細説明

＜評価結果＞

ＦＤモニタリングロープレ評価結果

	項目	ステージ① お客さまカードの聞き取り	ステージ② リスクとリターンの説明	ステージ③ お金の色分け	ステージ④ 投資信託とは	ステージ⑤ マーケット環境の説明	ステージ⑥ コアサテライト分散投資の説明	ステージ⑦ 意向にあった商品の説明	ステージ⑧ 手数料等の説明	ステージ⑨ 分配金のﾒﾘｯﾄ・ﾃﾞﾒﾘｯﾄの説明	ステージ⑩ お選びいただいたﾌｧﾝﾄﾞの説明	合計
評価別延べ人数	よくできている	113	115	122	115	101	110	105	117	110	101	1109
	概ねできている	20	18	11	18	32	23	28	16	23	31	220
	習熟を要する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
全体に占める割合(%)	よくできている	85.0%	86.5%	91.7%	86.5%	75.9%	82.7%	78.9%	88.0%	82.7%	75.9%	83.4%
	概ねできている	15.0%	13.5%	8.3%	13.5%	24.1%	17.3%	21.1%	12.0%	17.3%	23.3%	16.5%
	習熟を要する	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.1%



（4）「フィデューシャリー・デューティーロープレ」結果を受けた対応

この結果を受けて、「マネーアドバイザー」に対して、下記を重点的に実施し、お客さまへの提案スキル向上を図ってまいります。

・さまざまなニュースと相場の関係性をわかりやすく説明
・複数ファンドを組み合わせた分散投資の説明
・意向にあったすべてのファンドをわかりやすく説明
・購入時手数料や信託報酬も加味した 5 年間の保有期間収益シミュレーション

また、2022 年 5 月より 2 ヶ月間で、「マネーアドバイザー」（31 名）は、通信講座「顧客本位の投資勧誘を身につける（2 ヶ月）コース」を受講しました。

＜受講成績＞

	第１分冊	第２分冊
受講者平均点	94.2	95.9

（5）コミュニケーション力向上に向けた階層別研修等の実施

これから預かり資産営業を開始する職員の早期養成を図るため、下記の通りコミュニケーションスキルやニーズ把握力を身に付けるための研修を実施しております。

実施月	研修名（人事部主管）	内　　容
4～5 月	新入職員基礎研修	店舗を想定したロールプレイングでのコミュニケーションスキル向上
7・11 月	コミュニケーション基礎研修	お客さまとの信頼関係の構築。会話の活性化
2 月	新入職員預かり資産基礎研修（単日）	預かり資産の基礎を習得
通年	預かり資産販売担当者の任命許可におけるモニタリング制度	預かり資産提案に必須としている資格 6 種類の合格者に対する店内ロープレテスト

※資格必須 6 種類とは、「特別会員証券外務員 2 種」「生保一般」「生保変額」「生保専門」「生保外貨」「損保一般」であり、これらをすべて合格しないと預かり資産商品を販売できません。

※モニタリング制度は、投信や保険等あらかじめ本部で用意した設定条件で上席者（評価者）をお客さまに見立てて店内で行なうロープレテストであり、これに合格しないと預かり資産商品を能動的にご提案できません。

○私たちは、お客さまの多様なニーズにお応えする商品のラインアップを一層充実してまいります。

（６）商品採用実績

お客さまの資産形成にとって、最適な商品を下記の通り採用しております。

採用日	採用ファンド	委託会社
2018 年 1 月 4 日（木）	iFree　日経 225 インデックス（つみたて NISA 専用）	大和アセットマネジメント株式会社
2018 年 1 月 4 日（木）	iFree　外国株式インデックス（つみたて NISA 専用）	大和アセットマネジメント株式会社
2018 年 1 月 4 日（木）	iFree　新興国株式インデックス（つみたて NISA 専用）	大和アセットマネジメント株式会社
2018 年 1 月 4 日（木）	iFree8　資産バランス（つみたて NISA 専用）	大和アセットマネジメント株式会社
2018 年 6 月 1 日（金）	ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）	三菱 UFJ 国際投信株式会社
2018 年 11 月 1 日（木）	日本健康社会応援ファンド	大和アセットマネジメント株式会社
2019 年6月3日（月）	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	東京海上アセットマネジメント株式会社
2019 年 10 月 16 日（水）	しんきん 3 資産ファンド（年 1 回決算型）	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
2019 年 10 月 16 日（水）	しんきん 6 資産ファンド（年 1 回決算型）	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
2019 年 10 月 16 日（水）	しんきん世界好配当利回り株ファンド（年 1 回決算型）	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
2020 年 8 月 3 日（月）	グローバル SDG s 株式ファンド	三井住友 DS アセットマネジメント株式会社
2021 年 6 月 1 日（火）	しんきん S＆P500 インデックスファンド	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
2021 年 6 月 1 日（火）	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	三菱 UFJ 国際投信株式会社
2021 年 6 月 1 日（火）	iFree　S&P500 インデックス	大和アセットマネジメント株式会社
2022 年 10 月 3 日（月）	新光日本小型株ファンド	アセットマネジメントＯｎｅ株式会社
2022 年 10 月 3 日（月）	しんきん全世界株式インデックスファンド	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
2022 年 10 月 3 日（月）	デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド	日興アセットマネジメント株式会社
2022 年 10 月 3 日（月）	クリーンテック株式＆グリーンボンド・ファンド（資産成長型）	大和アセットマネジメント株式会社
2022 年 10 月 3 日（月）	ゴールド・ファンド（為替ヘッジなし）	日興アセットマネジメント株式会社

３．お客さまの立場に立った情報提供をしてまいります。

○私たちは、商品やサービスのメリット・デメリットをご理解いただくため、お客さまの立場に立ったわかりやすい資料等を活用し、有益な情報提供に取り組んでまいります。

○私たちは、専門用語を用いず、お客さまの誤解、誤認を招かないような説明をしてまいります。

（１）「重要情報シート」の導入

「商品販売時の分かりやすい情報提供」および「投資信託等他の金融商品との比較」の観点から、お客さまが商品を適切に選択・判断していただくため、2022 年 5 月に「重要情報シート（外貨建一時払保険）」を導入しました。投資信託においては、2023 年 4 月に導入する予定です。

また、「マネーアドバイザー」が定期的に行なっている会議において、投資信託等の専門用語や難しい言葉をわかりやすい言葉に置き換えて、お客さまにご説明ができるよう継続的に指導を実施しております。

（２）問題事例等の勉強会開催

お客さまからのさまざまなご意見やご指導いただいたことは「マネーアドバイザー」が定期的に行なっている会議において速やかに共有し、再発防止に努めております。

また、「マネーアドバイザー」以外の職員にも共有を図るため、営業店別で開催される「職場内勉強会」において共有しております。

４．手数料等の重要情報を、お客さまへ丁寧に分かりやすく説明してまいります。

○私たちは、市場リスク等のある投資性商品（投資信託や特定保険商品等）に関しては、お客さまにご負担いただく手数料や生命保険会社から当金庫に支払われる販売手数料等について、お客さまへ丁寧にわかりやすく説明してまいります。

（１）手数料等重要事項を説明するための資料整備

ライフイベントやセカンドライフ、お客さまの将来をご一緒に考えながら、さまざまなご提案をさせていただくためのツール「«さいしん»と考えるマネープラン」を作成しております。

手数料や分配金等の重要事項に関するわかりやすい解説を掲載しているだけではなく、マネーアドバイザーにより、さまざまな投資性商品や保障性商品等のご提案をさせていただく際に活用しております。

５．お客さまに寄り添ったアフターフォローを実施してまいります。

○私たちは、投資信託や外貨建て保険をご契約いただいているお客さまに対し、定期的なアフターフォローを実施してまいります。

（1）定期的なアフターフォローの実施

投資信託と外貨建て保険を一定額保有いただいているお客さまに対し、定期的な面談や、郵送によるアフターフォローをさせていただいております。

※　投資信託は複数回、外貨建て保険は年に１回アフターフォローを実施

«投資信託»

年度	フォロー対象延べ先数	フォロー実施延べ件数	フォロー率
2020	23,832	23,355	98.0%
2021	22,501	25,344	112.6%
2022	22,991	22,794	99.1%

※2022 年度について、フォロー基準を変更した結果実施件数は前年より減少しましたが、対象先に対してはほぼ全先に対しフォローを実施しております。

«外貨建て保険»

年度	フォロー対象先数	フォロー実施先数	フォロー率
2020	5,066	5,053	99.7%
2021	4,272	4,153	97.2%
2022	3,711	3,653	98.4%

○私たちがアフターフォローを実施する際には、ご契約商品の現状確認だけでなく、課題やご要望をお伺いすることで、お客さまが真に求める最適な商品・サービスの提供に活かしてまいります。

（2）アフターフォロー結果の記録

アフターフォローをさせていただいた際には、どのようなお話をしたか、お客さまが不安に感じていることはなにか等、克明にシステムに記録を残しております。

（3）アフターフォロー実施状況の本部モニタリング

投資信託については資金証券国際部と営業推進部で、外貨建て保険については営業推進部で、アフターフォロー時の面談内容等について、モニタリング調査をしております。

（4）有益な情報の提供

«さいしん»では、マーケットセミナーや遺言信託セミナー、エンディングノートセミナー等、お客さまからご要望いただいた、さまざまな種類のセミナーを営業店別で開催しております。

※セミナー開催は新型コロナウイルス感染予防対策に万全を期しております。

«さいしん»のセミナーは、お越しいただいたお客さまが十分ご理解をいただけるよう、10 名程度の少人数制で開催しており、セミナー後には講師やマネーアドバイザーによる個別相談も承っております。

＜セミナー種類と参加者数＞　2022 年度

セミナー種類	実施会場数	参加者数
エンディングノート	2	18
介護	1	7
事業承継・M&A	1	14
相続の知識	5	35
マーケット	5	65
合計	14	139

また、投信委託会社等から提供されるさまざまな有益情報を社内イントラにおいてタイムリーに掲載し、営業店職員の提案する際の情報ツールとして活用しております。

６．お客さまの利益が不当に害されることがないよう、お客さまとの利益相反管理を適切に実施してまいります。

○私たちは、当金庫にのみ特別な利益となるような、一部の特定な資産運用会社や生命保険会社に偏った商品を提案するような行為はいたしません。

（１）ご提案する商品が偏らないようにするための職員教育

職員がお客さまにあった商品を選ぶのではなく、お客さまがご自分にあった商品を選んでいただけるよう、フィデューシャリー・デューティーロープレ等、職員向けのさまざまな研修で提案力の向上を図っております。

（２）利益相反に関する職員研修の実施

営業店別で開催される「職場内勉強会」において、お客さまに対する利益相反事例やお客さまからいただいたさまざまな声やご指導いただいたことを共有しております。

（３）コンプライアンス・マニュアルへの収録

お客さま本位の業務運営に関し、職員に周知定着を図るため、「コンプライアンス・マニュアル」に概要や留意事項等を収録しております。

○私たちは、これらの取組みが実践されているか、本部において定期的にモニタリングを実施してまいります。

（４）利益相反状況のモニタリング

利益相反に限らず、高齢者に対する不適正販売、乗り換え勧誘、生命保険に関する意向把握・情報提供義務の不履行、アフターフォローの未実施等がないよう、本部で毎月サンプリング調査を実施し、お客さまが不当に害されることのないよう、職員の投資性商品提案方法の検証を行なっております。

７．お客さま本位の業務運営を徹底するための適正な職員評価・報酬体系の整備並びに職員教育を実施してまいります。

○私たちは、お客さまが真に求める最適な商品・サービスを提供できるよう、職員に対するコンプライアンスや利益相反に関する研修を継続的に実施してまいります。

○私たちは、お客さまが真に求める最適な商品・サービスを提供するために必要なコミュニケーション方法や専門知識の習得を図る研修を定期的に実施してまいります。

○私たちは、お客さまが満足・感動をしていただいた事例を共有し、お客さまの課題解決への意識醸成を図ってまいります。

〇私たちは、お客さまが真に求める最適な商品・サービスを提供できるよう、適正な職員評価・報酬体系を整備してまいります。

（１）好事例の職員間共有

マネーアドバイザーに対し定期的に開催している会議の際に、お客さま本位でご提案した結果、お客さまにお喜びいただいた事例等を発表し、共有しております。

（２）お客さま本位の提案力向上に向けた研修等の実施

お客さま本位の提案力を向上するため、マネーアドバイザーに対し、下記集合研修を実施しております。また、集合研修で得た知識を体得するために、本部指導員によるマネーアドバイザーとの帯同訪問指導を行なっております。

«マネーアドバイザーに対する研修の実施回数»

８回（新任マネーアドバイザー向け３回、マネーアドバイザー向け５回）

«本部帯同指導員（4 名）によるマネーアドバイザーとの終日帯同指導回数»

121 回

また、自己啓発意欲の高い職員が任意に参加する休日開催の「スキルアップスクール（預かり資産）」においても、お客さま本位の提案力を向上するための研修を実施しており、マネーアドバイザー以外の職員も多数参加しております。

«任意参加の休日講座「スキルアップスクール（預かり資産）」実施回数、参加者数»

計 5 回、延べ 334 名

（３）管理者向けの研修やトレーニーの実施

お客さま本位の提案力を向上するため管理者に対し、下記集合研修を実施しております。また、検証力を強化するため、他の営業店で実施される事務臨店に帯同するトレーニーを実施しております。

No.	研修・講座名	人数	実施日
1	内管・法令等遵守責任者研修	90	2022 年 4 月 14 日（木） 2022 年 4 月 15 日（金） 2022 年 5 月 19 日（木）
2	内部管理責任者トレーニー	26	合計 26 回 2022 年 4 月 5 日（火）～2023 年 2 月 14 日（火）
3	法令等遵守責任者トレーニー	22	2022 年 7 月 5 日（火）～2022 年 9 月 7 日（水）
4	預かり資産・相続業務研修	81	2022 年 5 月 11 日（水）
5	預かり資産マネジメント研修	80	2022 年１ 1月 2 日（水）
6	営業責任者研修（映像配信）	80	2022 年 12 月 21 日（水）～2023 年 1 月 13 日（金）
7	事務管理部会	全店	合計 2 回 2023 年 1 月 13 日（金）・1 月 19 日（木） 2023 年 3 月 22 日（水）

【参考】金融庁公表の「顧客本位の業務運営に関する原則」への対応状況について

お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）取組状況について ～アクションプラン編～			原則（金融庁公表）
1．お客さまの最善の利益を追求することを最優先に、お客さま本位の業務運営を徹底してまいります。			2
2．お客さまが真に求める最適な商品・サービスを提供してまいります。			2、5、6、7
	（1）	「Welth Advisor」を投信提案で活用	2，5，6
	（2）	ロボアドの導入	5，6
	（3）	「フィデューシャリー・デューティーロープレ」の実施	2、5、6、7
	（4）	「フィデューシャリー・デューティーロープレ」結果を受けた対応	2、5、6、7
	（5）	コミュニケーション力向上に向けた階層研修等の実施	7
	（6）	商品採用実績	2、6
3．お客さまの立場に立った情報提供をしてまいります。			5、6
	（1）	重要情報シートの導入	5、6
	（2）	問題事例等の勉強会開催	5、6
4．手数料等重要情報を、お客さまへ丁寧にわかりやすく説明してまいります。			4
	（1）	手数料等重要事項を説明するための資料整備	4
5．お客さまの寄り添ったアフターフォローを実施してまいります。			2、6
	（1）	定期的なアフターフォローの実施	2、6
	（2）	アフターフォロー結果の記録	2、6
	（3）	アフターフォロー実施状況の本部モニタリング	2、6
	（4）	有益な情報の提供	2、6
6．お客さまの利益が不当に害されることがないよう、お客さまとの利益相反管理を適切に実施してまいります。			3、5、6、7
	（1）	ご提案する商品が偏らないようにするための職員教育	3、5、6、7
	（2）	利益相反に関する職員研修の実施	3、5、6、7
	（3）	コンプラインアンス・マニュアルへの収録	3、5、6、7
	（4）	利益相反状況のモニタリング	3、7
7．お客さま本位の業務運営を徹底するための適正な職員評価・報酬体系の整備並びに職員教育を実施してまいります。			6、7
	（1）	好事例の職員間共有	6、7
	（2）	お客さま本位の提案力向上に向けた研修等の実施	6、7
	（3）	管理者向けの研修やトレーニーの実施	6、7

以上

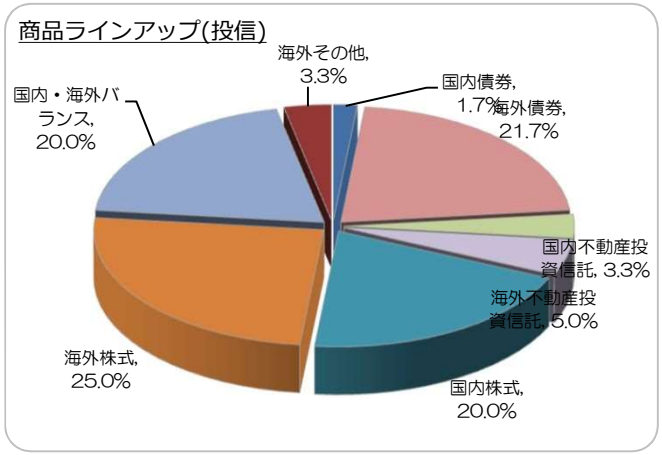
お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・ディーティー）取組状況について
～計数編～

1．商品ラインアップ

1-①.商品ラインアップ《投資信託》

主な投資対象	商品数	比率
国内債券	1	1.7%
海外債券(ﾈｯﾄ専用7ﾌｧﾝﾄﾞ含む)	13	21.7%
国内不動産投資信託	2	3.3%
海外不動産投資信託(ﾈｯﾄ専用1ﾌｧﾝﾄﾞ含む)	3	5.0%
国内株式(ﾈｯﾄ専用6ﾌｧﾝﾄﾞ含む)	12	20.0%
海外株式(ﾈｯﾄ専用2ﾌｧﾝﾄﾞ含む)	15	25.0%
国内・海外バランス(ﾈｯﾄ専用4ﾌｧﾝﾄﾞ含む)	12	20.0%
海外その他(ﾈｯﾄ専用1ﾌｧﾝﾄﾞ含む)	2	3.3%
合計(ﾈｯﾄ専用21ﾌｧﾝﾄﾞ含む)	60	100.0%

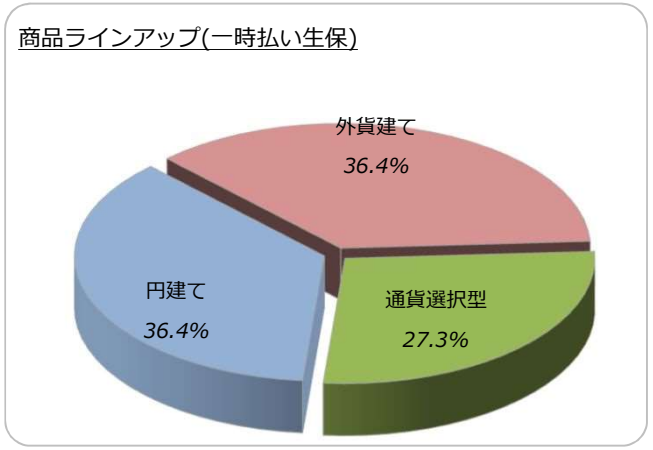
※2023年3月末現在



1-②.商品ラインアップ《一時払い生命保険》

商品種類	商品数	比率
円建て	4	36.4%
外貨建て	4	36.4%
通貨選択型（変額を含む）	3	27.3%
合計	11	100.0%

※2023年3月末現在

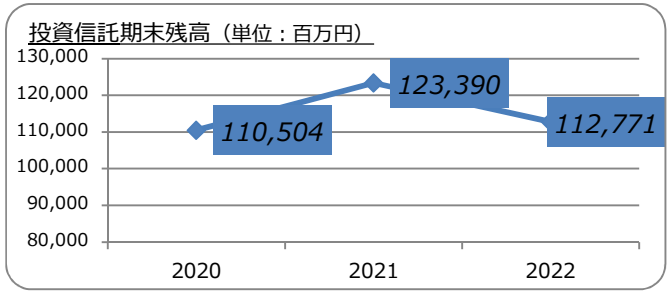


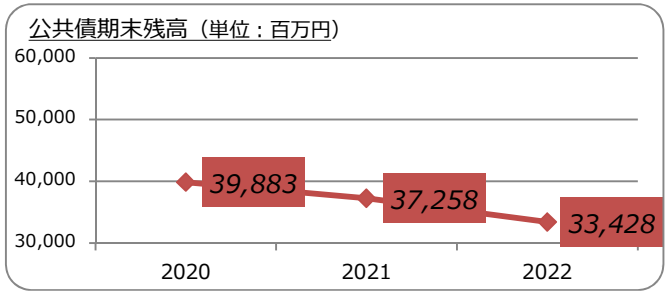
2．預かり資産残高

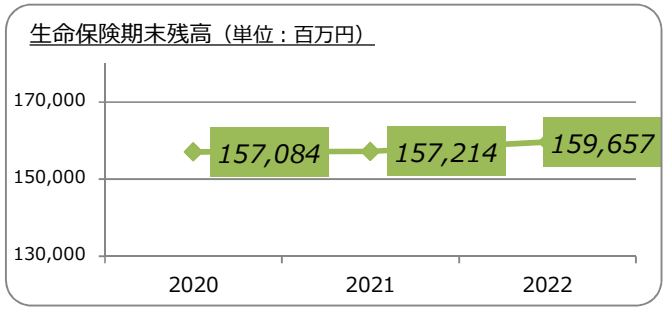
期末残高

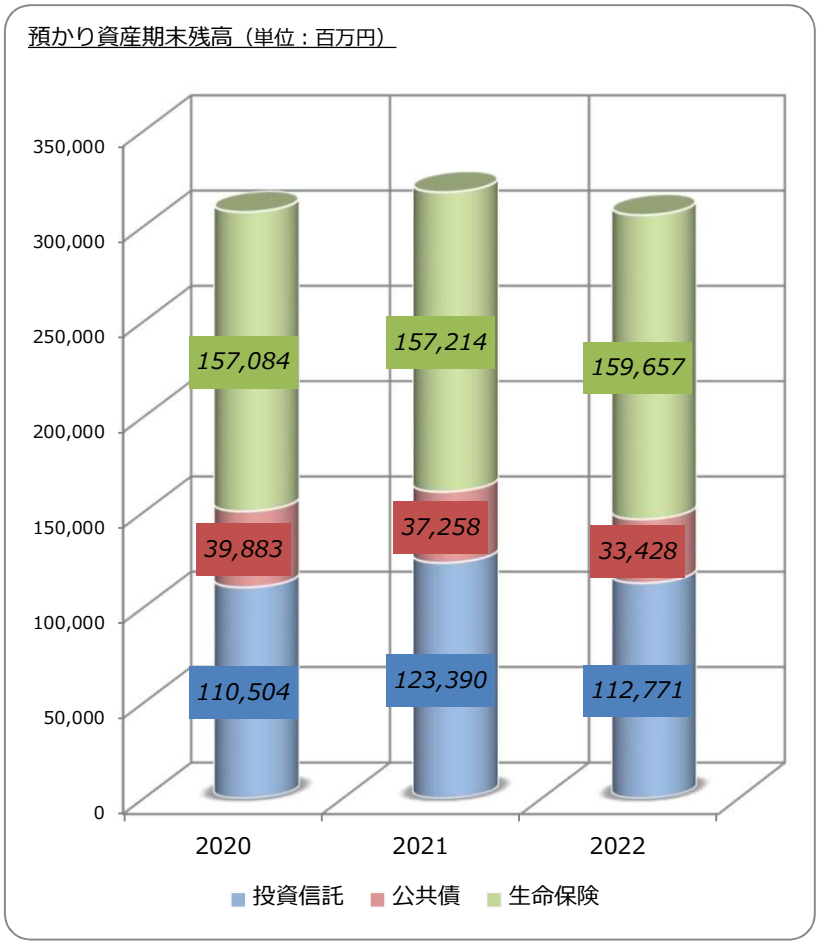
（単位：百万円）

	2020年度	2021年度	2022年度
投資信託	110,504	123,390	112,771
公 共 債	39,883	37,258	33,428
生命保険	157,084	157,214	159,657







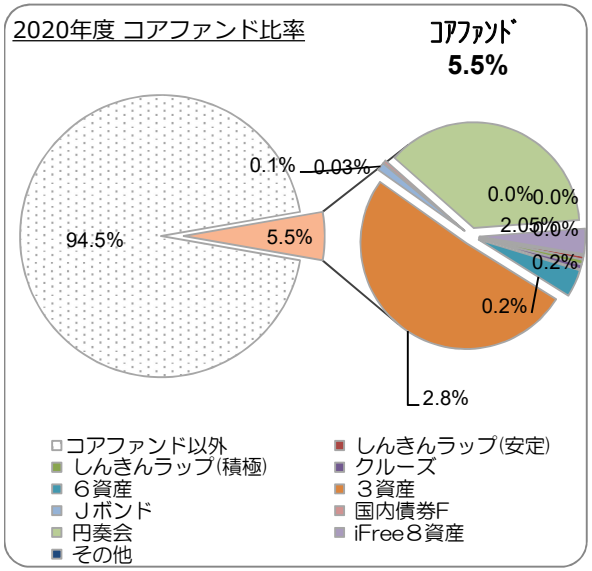


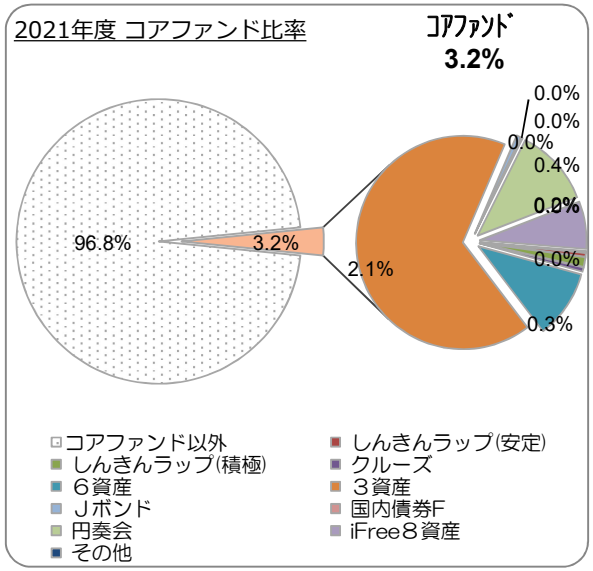
３．投資信託コアファンド比率（販売金額）

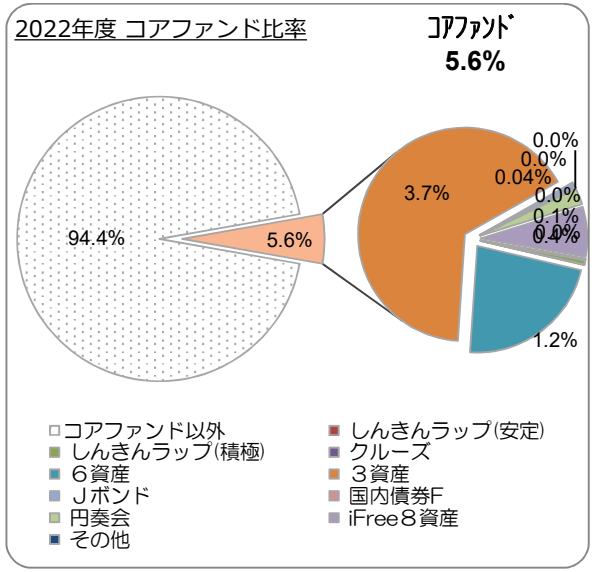
販売金額

（単位：百万円、%）

	2020年度		2021年度		2022年度	
	販売金額	比率（%）	販売金額	比率	販売金額	比率
投資信託合計	23,358	-	34,213	-	24,672	-
しんきんラップ(安定)	7	0.0%	6	0.0%	3	0.0%
しんきんラップ(積極)	9	0.0%	16	0.0%	8	0.0%
クルーズ	9	0.0%	7	0.0%	1	0.0%
６資産	54	0.2%	113	0.3%	308	1.2%
３資産	656	2.8%	725	2.1%	904	3.7%
Ｊボンド	16	0.1%	7	0.0%	11	0.0%
国内債券F	6	0.0%	3	0.0%	2	0.0%
円奏会	480	2.1%	128	0.4%	34	0.1%
iFree８資産	50	0.2%	78	0.2%	104	0.4%
その他	1	0.0%	3	0.0%	0	0.0%
コアファンド計	1,288	5.5%	1,086	3.2%	1,375	5.6%



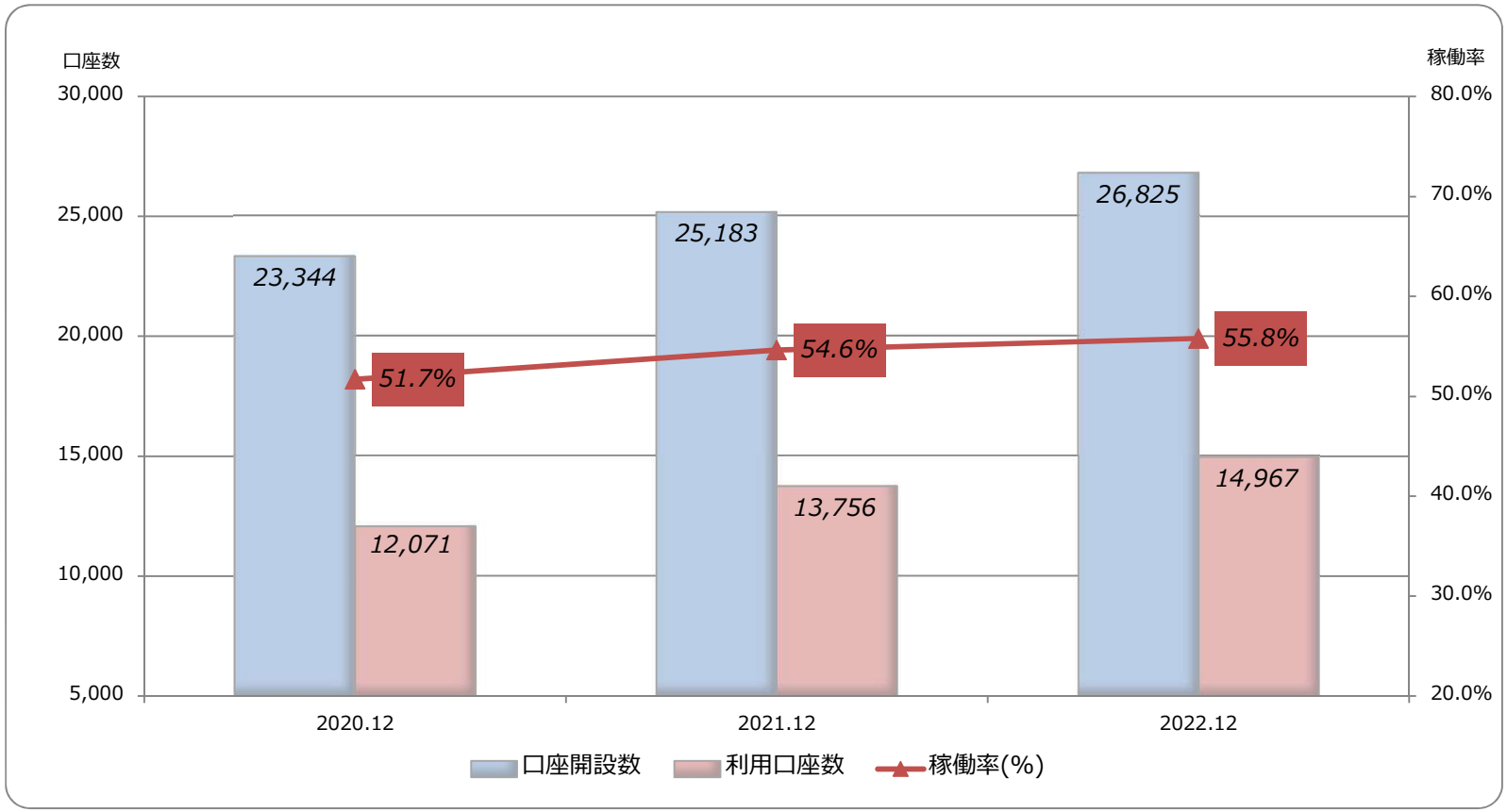




株式相場の下落を受け、株式ファンド（国内・海外）の販売が減少し、コアファンド（バランス型）の販売は増加しました。

４．ＮＩＳＡ稼働状況

	2020年12月末	2021年12月末	2022年12月末
口座開設数	23,344	25,183	26,825
利用口座数	12,071	13,756	14,967
稼働率(%)	51.7%	54.6%	55.8%

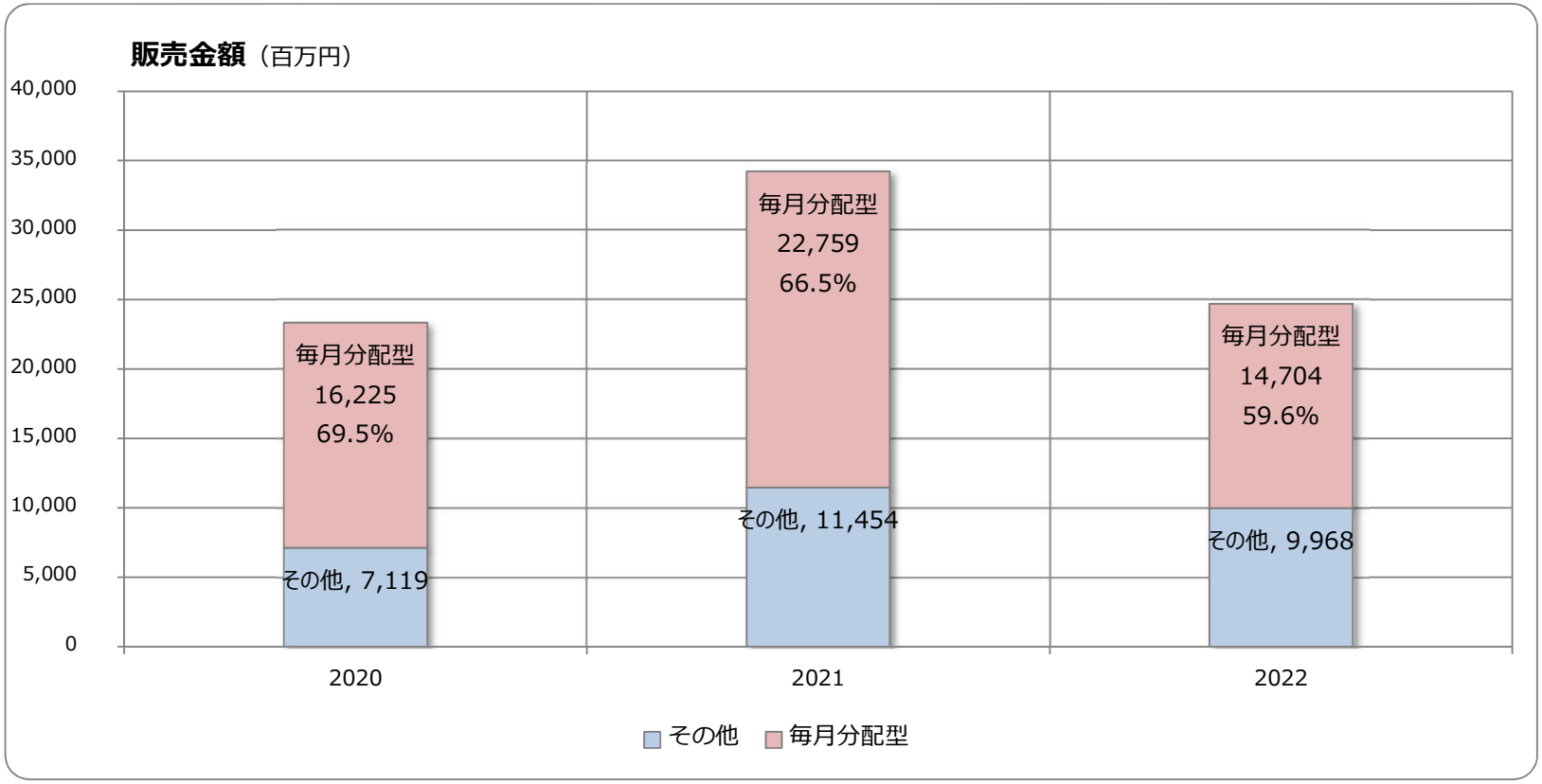


５．投資信託に占める毎月分配型ファンドの比率

販売金額

（単位：百万円、%）

	2020年度		2021年度		2022年度	
	ファンド数	販売金額	ファンド数	販売金額	ファンド数	販売金額
投資信託合計	62	23,344	63	34,213	70	24,672
毎月分配型	26	16,225	26	22,759	26	14,704
比率(%)	41.9%	69.5%	41.3%	66.5%	37.1%	59.6%

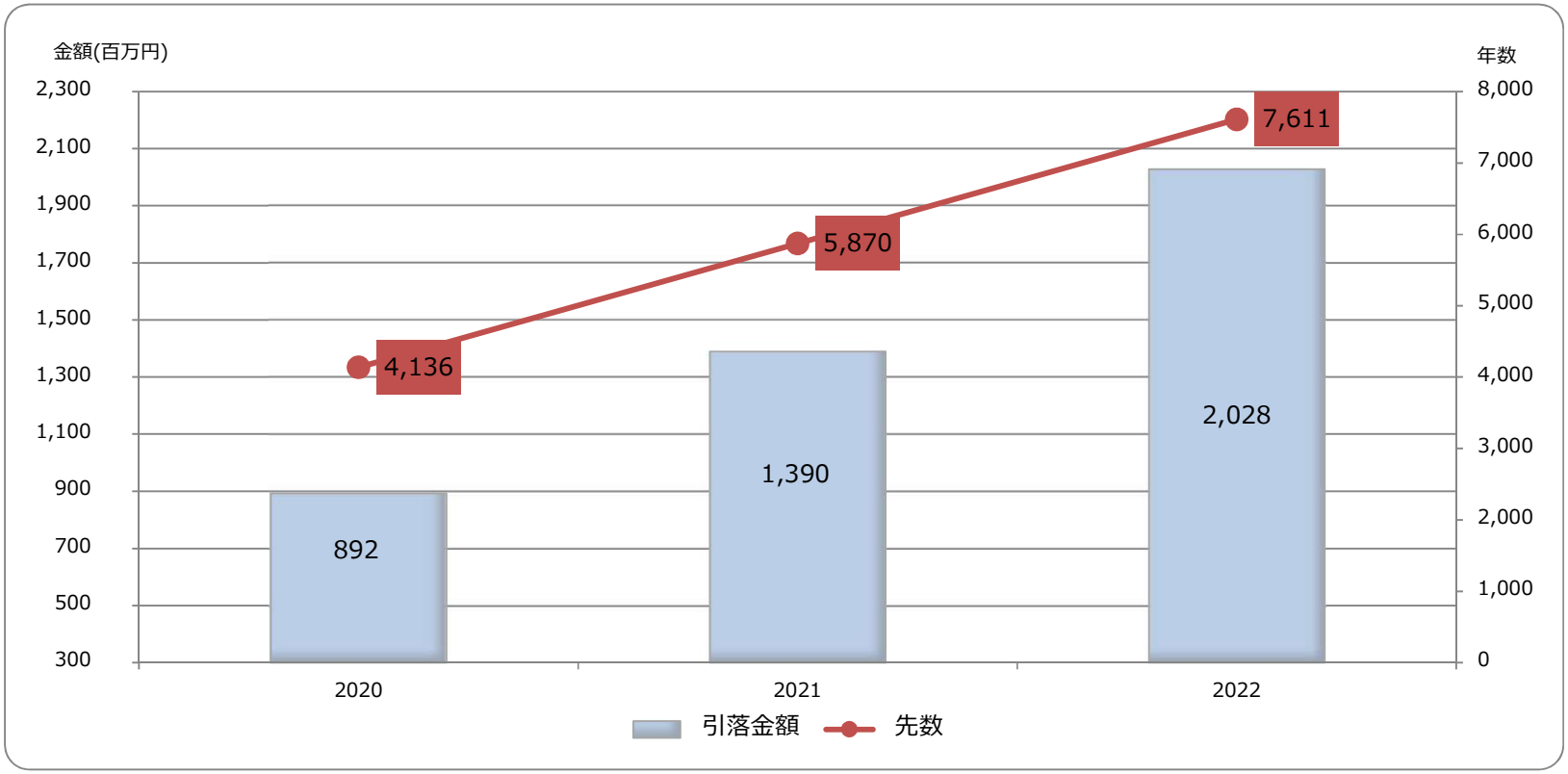


6．積立投信の実績

年間実績

（単位：百万円）

	2020年度	2021年度	2022年度
先数	4,136	5,870	7,611
引落金額	892	1,390	2,028

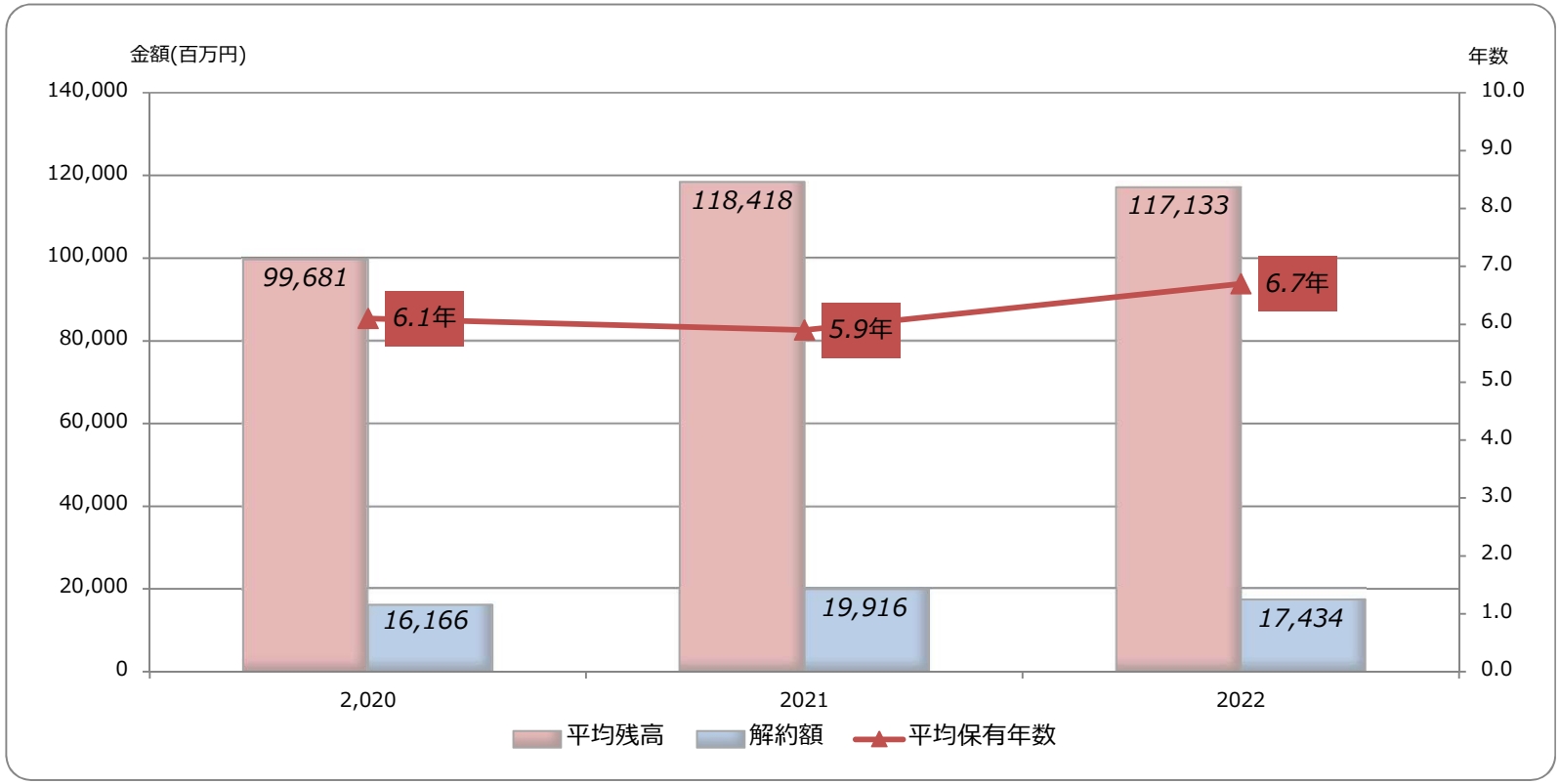


７．投資信託の平均保有年数

（単位：百万円、年）

	2020年度	2021年度	2022年度
平均残高	99,681	118,418	117,133
解約額	16,166	19,916	17,434
平均保有年数	6.1	5.9	6.7

※算出方法…「平均保有年数＝｛（期首残高＋期末残高）÷2｝÷年度解約額」



８．ＦＰ資格保有者状況

資　格　分　類	2020年度	2021年度	2022年度
１級ＦＰ技能士（チーフフィナンシャルプランナーを含む）	43	50	55
２級ＦＰ技能士（アシスタントＦＰを含む）	782	814	866
３級ＦＰ技能士	839	863	889
合計	1,664	1,727	1,810

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」公表について

○埼玉縣信用金庫は「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）基本方針」を制定し、お客さまの最善の利益を追求することを最優先にアクションプランを定め、金融商品・サービスの拡充や分かりやすい情報提供に努めるなど、具体的取組みを実践し、その取組み状況を公表してまいりました。

○2018 年 6 月に金融庁から「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI について」とした文書により、お客さまが金融事業者を選ぶ上で有益とされる 3 つの統一的な指標（以下、「比較可能な共通 KPI」）が公表されました。

○埼玉縣信用金庫は「比較可能な共通 KPI」を公表し、お客さまから選ばれ続ける金融機関となるために具体的取組みを実践してまいります。

「比較可能な共通 KPI」の内容

① 運用損益別顧客比率

・投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益区分別にお客さまの比率を示した指標です。

・個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているかを見ることができます。

② 投資信託預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

・設定後 5 年以上の投資信託の預り残高上位 20 銘柄について、銘柄ごと及び預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。

・中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

③ 投資信託預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

・設定後 5 年以上の投資信託の預り残高上位 20 銘柄について、銘柄ごと及び預り残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。

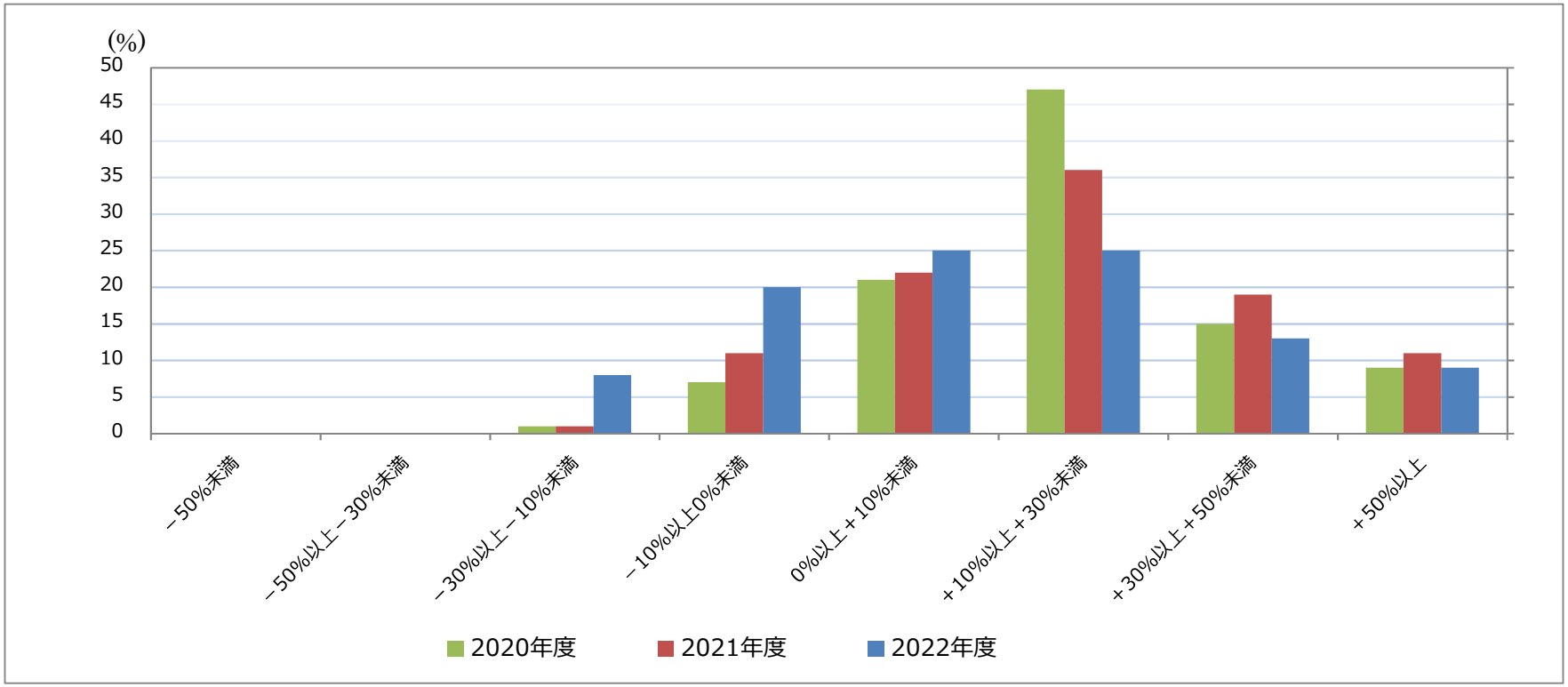
・中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

運用損益別顧客比率

・お客さまにご購入いただいた投資信託の運用損益状況を損益区分ごとに公表しております。

・2023 年 3 月末時点において、当金庫で運用されているお客さまのうち、72%の方がプラスとなっております。

・引続き、お客さまに最適な商品・サービスを提供してまいります。



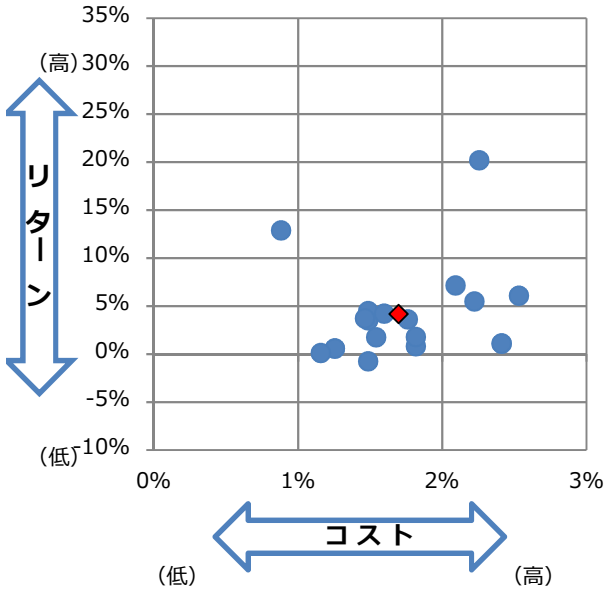
2020 年度～2022 年度プラス割合　92%　⇒　88%　⇒　72%

※上記数値は過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではございません。

投資信託預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

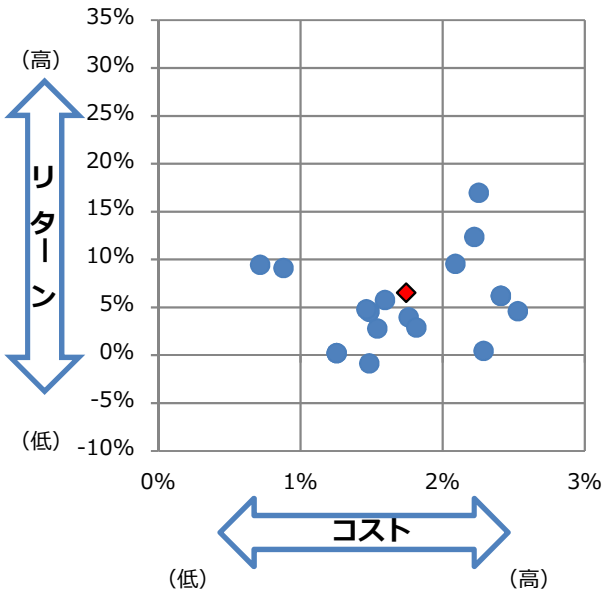
・お客さまにご購入いただいた投資信託の残高上位 20 銘柄について、コストに対するリターンを公表しております。

<2020 年度>



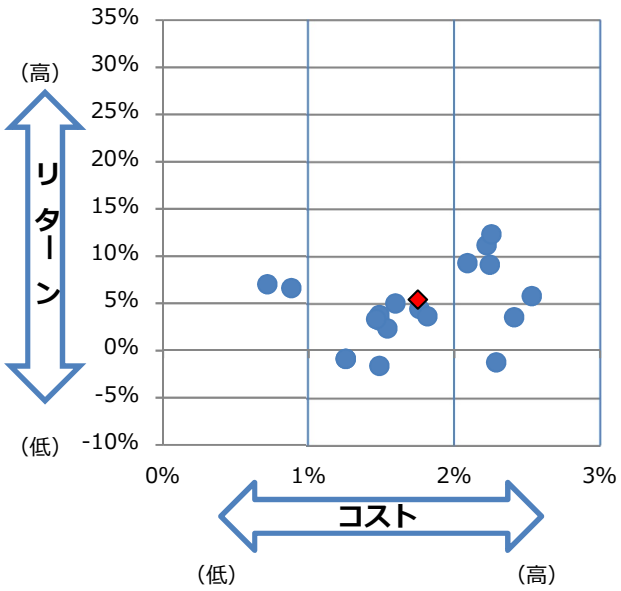
残高加重平均値	コスト	リターン
(◆)	1.69%	4.21%

<2021 年度>



残高加重平均値	コスト	リターン
(◆)	1.74%	6.50%

<2022 年度>



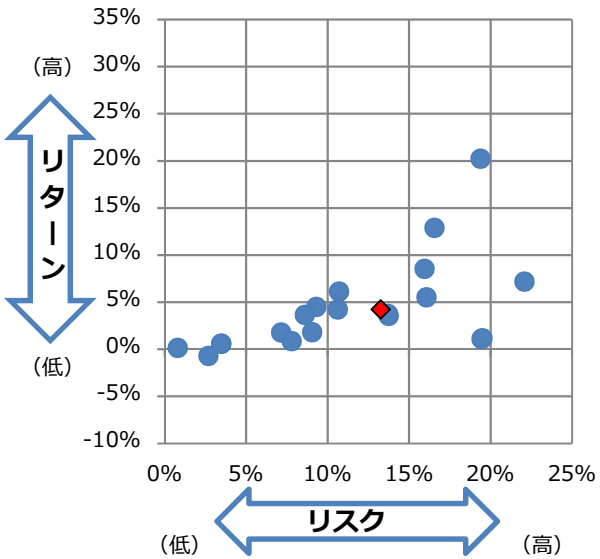
残高加重平均値	コスト	リターン
(◆)	1.75%	5.37%

※上記数値は過去の実績であり、将来のコスト・リターンをお約束するものではございません。

投資信託預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

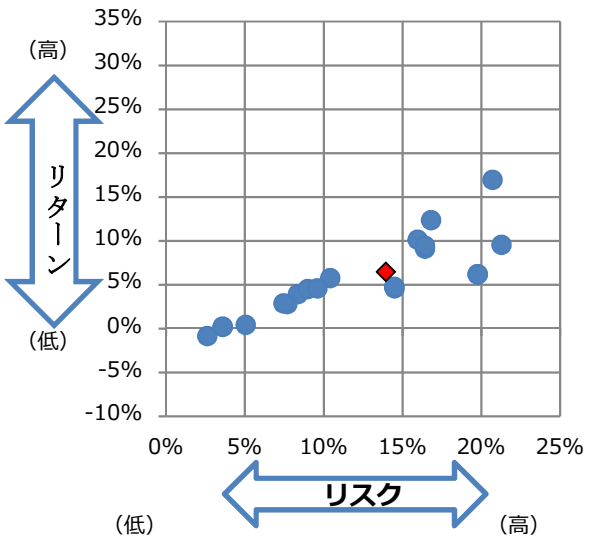
・お客さまにご購入いただいた投資信託の残高上位 20 銘柄について、リスクに対するリターンを公表しております。

<2020 年度>



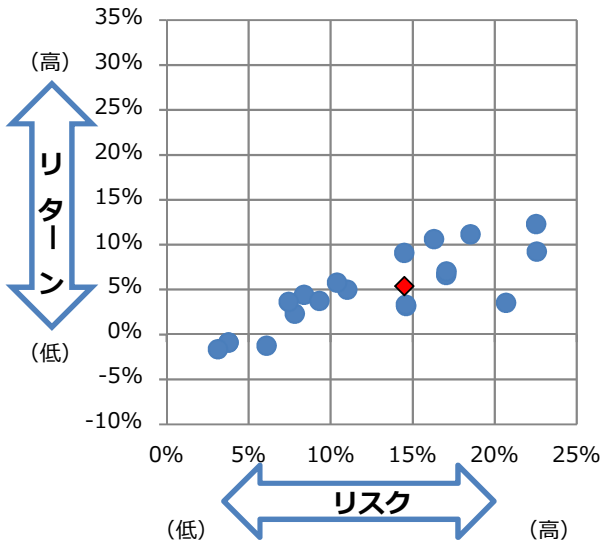
残高加重平均値（◆）	リスク	リターン
	13.24%	4.21%

<2021 年度>



残高加重平均値（◆）	リスク	リターン
	13.95%	6.50%

<2022 年度>



残高加重平均値（◆）	リスク	リターン
	14.47%	5.37%

※上記数値は過去の実績であり、将来のリスク・リターンをお約束するものではございません。

投資信託預り残高上位 20 銘柄

<2021 年度>

順位	銘柄名	リターン	リスク	コスト
１位	しんきんＪリートオープン（毎月決算型）	4.59%	14.50%	1.49%
２位	ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン（毎月決算型）Ｂコース（為替ヘッジなし）	12.36%	16.80%	2.22%
３位	三菱 UFJ／マッコリ―グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	3.95%	8.36%	1.76%
４位	ＤＩＡＭ高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	2.80%	7.69%	1.54%
５位	しんきん３資産ファンド（毎月決算型）	4.51%	8.99%	1.49%
６位	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	10.14%	15.96%	3.08%
７位	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	16.96%	20.71%	2.26%
８位	しんきんインデックスファンド２２５	9.11%	16.42%	0.88%
９位	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	0.20%	3.60%	1.25%
１０位	野村 PIMCO・世界インカム戦略ファンドＣコース	0.43%	5.06%	2.29%
１１位	ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月決算型）	2.87%	7.44%	1.82%
１２位	三井住友・グローバル・リート・オープン	6.20%	19.75%	2.41%
１３位	東京海上・円資産バランスファンド（年１回決算型）	0.21%	3.60%	1.25%
１４位	しんきんＪリートオープン（１年決算型）	4.78%	14.47%	1.46%
１５位	しんきんグローバル６資産ファンド（毎月決算型）	5.77%	10.41%	1.60%
１６位	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	9.54%	21.27%	2.09%
１７位	高利回り社債オープン（毎月分配型）	4.60%	9.61%	2.53%
１８位	三井住友・グローバル・リート・オープン（３ヵ月決算型）	6.21%	19.78%	2.41%
１９位	しんきん世界アロケーションファンド	-0.85%	2.61%	1.49%
２０位	しんきん日経平均オープン	9.46%	16.43%	0.72%

投資信託預り残高上位 20 銘柄

<2022 年度>

順位	銘柄名	リターン	リスク	コスト
１位	しんきんＪリートオープン（毎月決算型）	3.17%	14.60%	1.49%
２位	ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン（毎月決算型）Ｂコース（為替ヘッジあり）	11.13%	18.52%	2.22%
３位	三菱 UFJ／マッコリ―グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	4.40%	8.38%	1.76%
４位	しんきん３資産ファンド（毎月決算型）	3.74%	9.31%	1.49%
５位	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	10.59%	16.30%	3.08%
６位	ＤＩＡＭ高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	2.31%	7.81%	1.54%
７位	ロボット・テクノロジー関連株ファンド－ロボテック－	12.30%	22.52%	2.26%
８位	ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）	9.09%	14.48%	2.24%
９位	しんきんインデックスファンド２２５	6.60%	17.04%	0.88%
１０位	野村ＰＩＭＣＯ・世界インカム戦略ファンドＣコース	-1.26%	6.09%	2.29%
１１位	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	-0.90%	3.76%	1.25%
１２位	しんきんグローバル６資産ファンド（毎月決算型）	4.97%	11.00%	1.60%
１３位	しんきんＪリートオープン（１年決算型）	3.32%	14.58%	1.46%
１４位	ダイワ高格付カナダ債オープン（毎月分配型）	3.61%	7.44%	1.82%
１５位	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	9.24%	22.56%	2.09%
１６位	東京海上・円資産バランスファンド（年１回決算型）	-0.89%	3.76%	1.25%
１７位	しんきん日経平均オープン	7.00%	17.06%	0.72%
１８位	三井住友・グローバル・リート・オープン	3.52%	20.68%	2.41%
１９位	高利回り社債オープン（毎月分配型）	5.77%	10.39%	2.53%
２０位	しんきん世界アロケーションファンド	-1.65%	3.12%	1.49%

「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通 KPI」公表について

○埼玉縣信用金庫は「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）基本方針」を制定し、お客さまの最善の利益を追求することを最優先にアクションプランを定め、金融商品・サービスの拡充や分かりやすい情報提供に努めるなど、具体的取組みを実践し、その取組み状況を公表してまいりました。

○2022 年 1 月に金融庁から「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通 KPI について」とした文書により、お客さまが金融事業者を選ぶ上で有益とされる 2 つの統一的な指標（以下、「比較可能な共通 KPI」）が公表されました。

○埼玉縣信用金庫は「比較可能な共通 KPI」を公表し、お客さまから選ばれ続ける金融機関となるために具体的取組みを実践してまいります。

「比較可能な共通 KPI」の内容

① 運用評価別顧客比率

・基準日に外貨建保険を保有しているお客さま（個人）について、購入時以降のリターンを算出し、すべてのお客さまを 100%とした場合のリターン別のお客さま分布を示した指標です。

・個々のお客さまが保有している外貨建保険について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているか見ることができます。

② 外貨建保険銘柄別コスト・リターン

・基準日に 5 年以上保有している外貨建保険契約について、平均コストと平均リターンの関係を示した指標です。

(ア) 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。

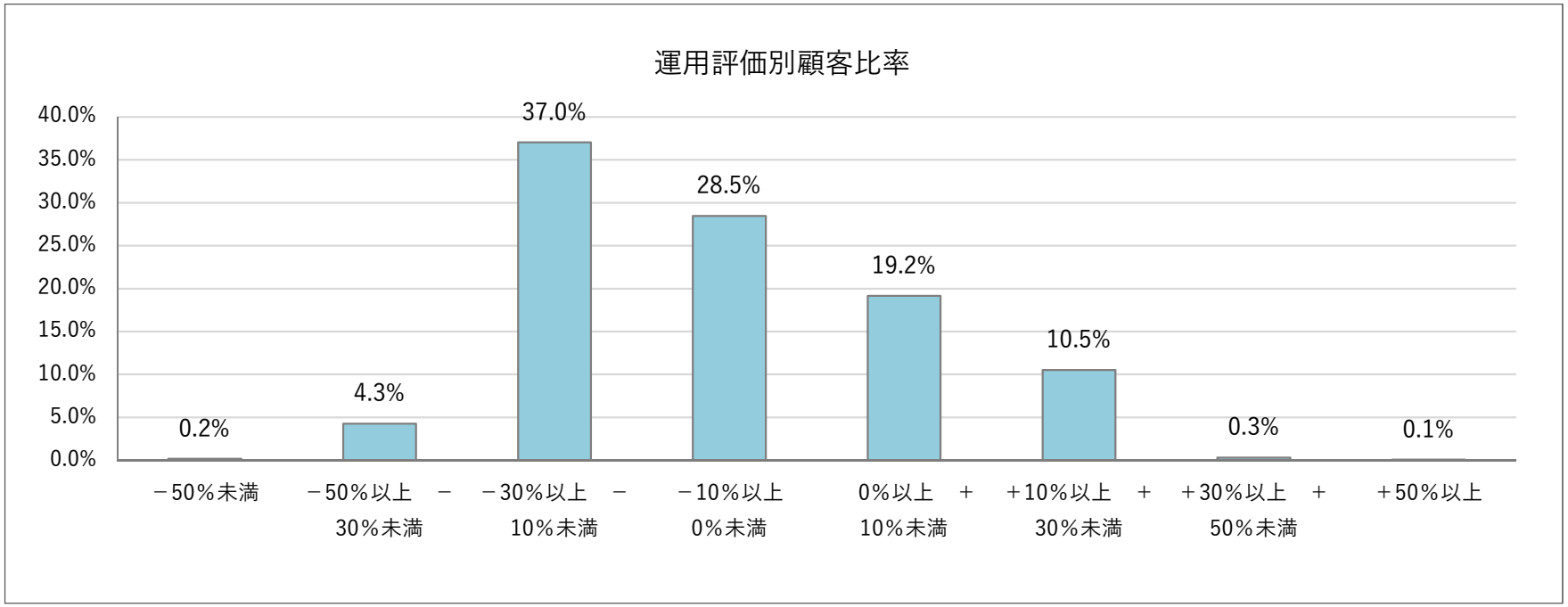
(イ) 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

運用評価別顧客比率

・お客さまにご購入いただいた外貨建保険の評価損益状況を損益区分ごとに公表しております。

・2023 年 3 月末時点において、当金庫でご契約されているお客さまのうち、30.1%の方がプラスとなっております。

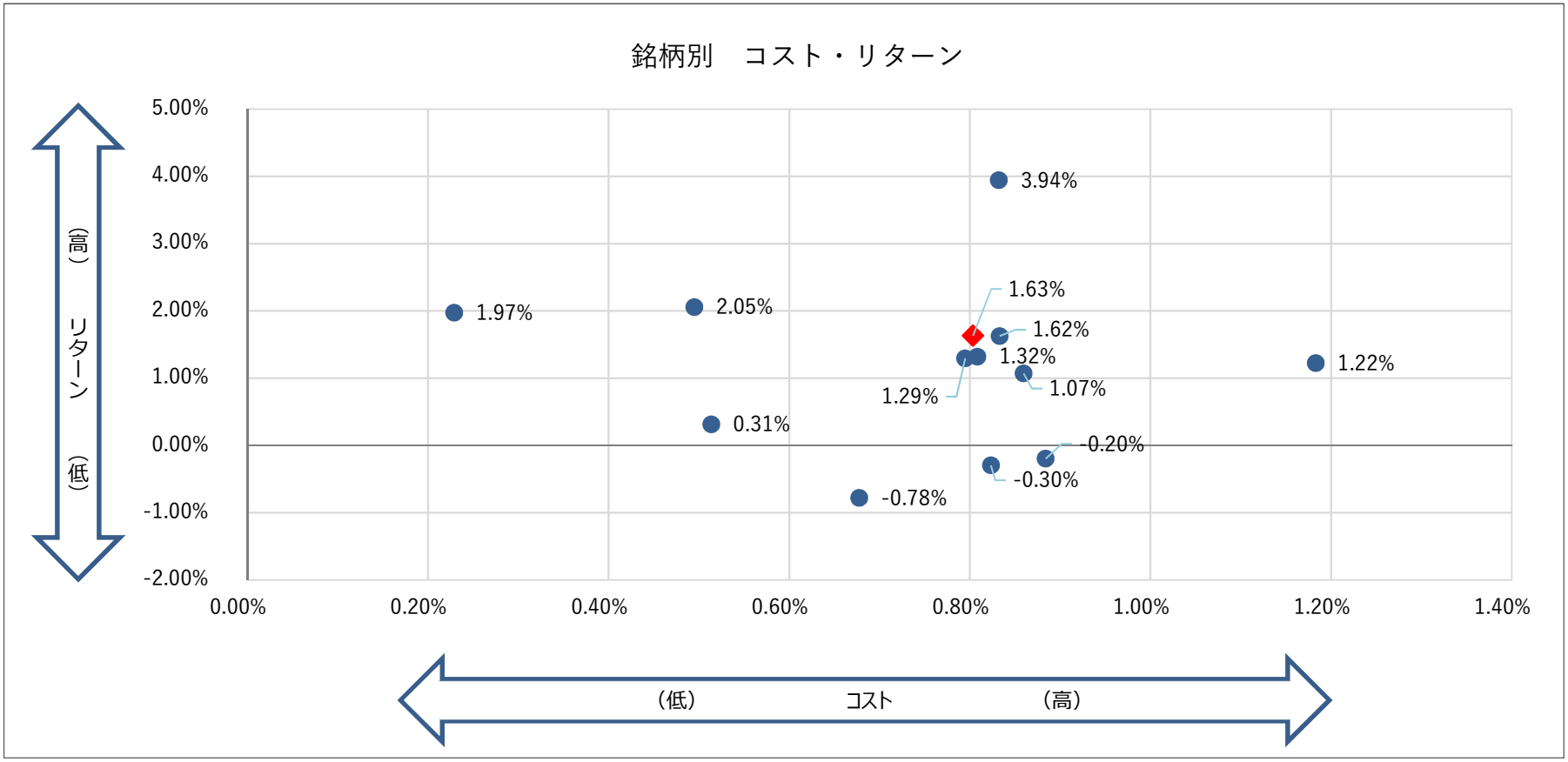
・引続き、お客さまに最適な商品・サービスを提供してまいります。



※上記数値は過去の実績であり、将来の評価損益をお約束するものではございません。

外貨建保険銘柄別コスト・リターン

・お客さまにご購入いただいた外貨建保険の各銘柄について、コストに対するリターンを公表しております。



加重平均	コスト	リターン
（◆）	0.80%	1.63%

※上記数値は過去の実績であり、将来のコスト・リターンをお約束するものではございません。

外貨建保険の個別銘柄

項番	銘柄名	コスト	リターン
1	5 年ごと利差配当付利率変動型一時払特別終身保険　エブリバディプラス（豪ドル）【目標達成】	0.79%	1.29%
2	5 年ごと利差配当付利率変動型一時払特別終身保険　エブリバディプラス（豪ドル）外貨	0.81%	1.32%
3	5 年ごと利差配当付利率変動型一時払特別終身保険　エブリバディプラス（米ドル）外貨	0.83%	3.94%
4	5 年ごと利差配当付利率変動型一時払特別終身保険　エブリバディプラス（米ドル）【目標達成】	0.83%	1.62%
5	新通貨選択利率更改型終身保険　しあわせ、ずっと	0.86%	1.07%
6	通貨選択型特別終身保険　やさしさ、つなぐ	0.68%	-0.78%
7	無配当保険金額変動型終身保険（外国為替連動・通貨選択Ⅳ型）　生涯プレミアムワールド４	0.88%	-0.20%

（保険料残高順）